

第二十七回帝國議會 院 蠶絲業法案委員會會議錄(速記)第三回

會議

明治四十四年二月十八日午後三時三十九分開議

出席委員左ノ如シ

野田 卯太郎君

翠川

鐵三君

武藤

金吉君

駒田 小次郎君

村上

先君

關口

安太郎君

築山 和一君

島田

保之助君

橋本

久太郎君

堀口 覺治君

佐々木

文一君

卜部

喜太郎君

高木 正年君

出席國務大臣左ノ如シ

農商務大臣 男爵大浦 兼武君

出席政府委員左ノ如シ

農商務次官 押川 則吉君

農商務省農務局長 下岡 忠治君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

蠶絲業法案

○委員長(野田卯太郎君) 唯今ヨリ開會シマス、御質問ノアル御方ハ御質問アラン

コトヲ希望致シマス

○武藤金吉君 前會ニ於キマシテ下岡政府委員カラ詳細ナル御説明ガアリマシタガ、

未ダ其御説明ニ主要ノ點ガ缺ケテ居ルヤウニ私共ハ思ヒマスカラシテ、一二ヲ承ハッテ置キ

タイト思ヒマス、此ハ勿論大體デゴザイマスルガ、桑園ニ對シマシテハ如何ナル施設ヲシテ、

蠶業發展ニ資セントスル御考デゴザイマスルカ、又桑ノ病氣ニ對シマシテハ如何ナル御研

究ヲナサル施設ニナッテ居リマスカ、又桑苗改良ニ付キマシテハ如何ナル方針ヲ執ラレ

テアリマスカ、蠶業上ノ改良ハ、蠶種ノ改良ト共ニ桑園ノ設備ト云フヤウナコトハ、何レ

ヲ先ニシ何レヲ後ニスルカト云フコトノ出來ナイ程ノ必要ナル問題デナイカト感ズルノデア

リマス、然ルニ此點ノ施設ニ對シマシテハ、未ダ其御方針ヲ承ハルコトガ出來ナイノデア

リマスガ、ドウカ先ヅ此點カラ御答ヲ煩ハシタイノデアリマス

○政府委員(下岡忠治君) 御答教シマス、唯今ノ御問ノアリマシタ通りニ、如何ニ

種類ノ改良ト云フコトニ對シテ熱中シテ見マシテモ、其食糧ニ當ルベキ桑ハ、餘程是ハ

基本ニ屬スルモノデゴザイマシテ、改良ト云フコトヲ圖ルト共ニ、桑ト云フ問題ニ付キマシ

テハ非常ニ注意ヲ拂ッテ往カケレバナラヌト云フコトヲ、唯今武藤君ノ御話ノ通りト

思ヒマス、此點ニ付キマシテハ政府モ從來カラ出來ベキダケノ施設ハヤッテ居リマス、第

一ニ桑園ト云フモノヲ改良スルコト云フコト、及ヒ擴張シテ行クト云フコトニ付キマシテ

ハ、年々協賛ヲ得テ居リマス豫算デ 八萬圓ト云フ金ガ府縣ニ年々行クトニナッテ居

リマス、從來ノ八萬圓ノ金ノ使方ハドウ云フ風ニナッテ居ルコト云フト、主トシテ桑園ヲ

擴張ルト云フ方ニ力ヲ入レテ居ッタデアリマス、現ニ此補助ヲ行ッテ以來、殖ヘテ居ル

町歩モ非常ニ多クナッテ居リマス、確カニ補助ト云フコトノ政策ハ、所謂蠶絲業ノ根本

ニ當ル桑ノ分量ヲ多ク拵ヘルト云フコトニ付キマシテハ、餘程良イ結果ガ上ッテ居ルデラウ

ト思フ、併ナガラ一方デ荒蕪地ヲ開拓シテ、相當ニ桑園ヲ殖ヤスト云フコトモ必要デ

ザイマスケレドモ、是マデ桑園デアルモノガ荒蕪ニ及ンデ居ルト云フコトハ、御承知ノ通り

ノ事實デアリマス、殊ニ夏秋蠶ガ盛ニナッタメニ、ヤタラニ桑ヲ度々採ルト云フ結果、是

マデ非常ニ立派ナル桑園ガ、段々荒蕪ニ赴クト云フ狀況が見エマスカラ、當分政府ノ考

トシテハ、新タニ開墾シテ桑園ヲ殖ヤスト云フ方ニ力ヲ入レルヨリ、寧ロ既設ノ桑園ニ對シ

テ改良ト云フコトニ力ヲ盡ス必要ガアリマス、從テ地方廳ニ於テモ政府ノ補助費ヲサウ云

フ方ニ使ッテ行クヤウニシタイ考デ、斯ウ云フ考ヘデゴザイマシテ、此點ニ付キマシテハ、既ニ

生産調査會ト云フモノヲ開カレマシタ際ニモ、蠶絲業ニ關スル大體ハサウ云フコトヲ極メ

タイト云フ考ヘデ提案ヲシテ、ソレハ調査會デモ容レラレルコトニナッタデアリマス、ソレ

カラ病氣ノ方デスガ、是モ隨分關係ガ大キイモノデゴザイマシテ、是ハ西ヶ原ナリ或ハ京都

ナリ講習所デ研究シテ居リマスガ、一方農事試驗所ニ於テモ研究シテ居リマス、御承

知ノ通り此萎縮病ト云フモノニ付キマシテハ、隨分慘害ヲ與ヘタモノデゴザイマスガ、是等ニ

對シテハ豫防法ノ研究ハ一通リ出來テ、原因等モ極メテ、相當ニ豫防ノ途モ出來テ

居ルト云フ宜シイガ、其以外ニモ各種ノ病氣ガゴザイマシテ、其等ニ付キマシテノ調査ハ、專

門ノ人ニ於テ今ヤッテ居リマルガ、尙是カラ先キモ十分研究ヲスルト云フコトニ付キマ

シテハ、益、力ヲ入レササウト云フ考ヘデアリマス、益、是カラ先モ注意シテヤルト云フ考デ

ゴザイマス、桑苗ハ即チ府縣ニ於キマシテハ、桑苗ヲ補助シタリ或ハ植ヘタ者ニ對シタハ、

一本ニ付テ幾ラ、一段歩ニ付テ幾ラ補助ヲシテ、桑園ヲ擴張メルト云フヤリ方ト、或ハ新タ

ニ桑ヲ 外ノ苗ヲ新タナ苗ヲ持ッテ行ッテ植ヘタ者ニハ補助スルト云フコトヲシテ居リマ

スガ、ソレハ即チ桑園改良費デヤッテ居リマス、尙苗ノ種類ハ非常ニ選擇シテ、從來作

テ居ルモノヨリハ一層種類ノ良ヒ苗ヲ作り、從テ經濟的ノ立派ナモノヲ拵ヘル必要ハ一

層ゴザイマスカラ、是ハ矢張一ツノ種類ノ改良ト云フ側カラ、常ニ其研究ヲ怠シテ居リマ

セス、從テ數府縣ニ對シテ指定シテ補助費ヲソレニヤッテ試驗ヲサシテ居ルコトハ、二年

前カラヤッテ居リマス、是等ノ結果モハッキリシタコトハ分リマセヌガ、確カニ相當ノ研究ヲ

盡シテ居ルコトト思ヒマス、兎モ角モ桑ノ種類ノ改良ハ大事デアリマスカラ、ソレニ對スル

研究ハ怠ラズヤッテ居リマス

○武藤金吉君 唯今ノ御答デ大體ハ了承致シマシタガ、就キマシテハ將來此桑ノ研

究ニ付キマシテハ、ヤハリ原蠶種試驗場デヤリマスガ、別ニ桑ニ對スル研究所ヲ新タニ設

ケル積リデアリマスカ、在來ノ蠶業講習所當リデ試驗ヲスル積リデアリマスカ、又桑ノ

病氣若クハ種類ノ選定總テノ葉ノ量ニ對シ 總テニ對シマシテモ研究スルコトニナル

御見込デゴザイマセウカ

○政府委員(下岡忠治君) ソレハ從來ハ西ヶ原ノ講習所ト京都ノ講習所、ソレカラ

一方デハ農事試驗場デヤッテ居リマス、今度ハ原蠶種ノ製造場ヲ設ケマス以上ハ、孰レ

所ニ於テ桑園及ヒ或ル種類ノ病氣ニ付テモ研究モヤラセタイト云フ考デアリマス、併シ一方カラ申シマスレバヤハリ農事試験場ノ仕事デモアリマスヤウデアリマスカラ、中央試験場ニ於テモ、地方ノ試験場ニ於テモ、桑ノ改良ニ付テハヨリ多ク——寧ロヨリ多ク勉メサセタイ考ヲ以テ居リマス

○翠川鐵三君 此第五條ノ蠶種製造者タルモノハ地方長官ノ免許ヲ受クベシト云フコトニ付テハ、下岡君ノ御説明ハ速記録ニ依テ拜見致シマシテ、是ハ政府ノ御趣意ハ分ッテ居リマスガ、絕對ニ或ル制限ヲ此際附スルト云フコトハ全然御不同意デアルカ、又ハ時期ニ依ッテ適當ノ方法ガアレバ、此製造者ノ資格ノ限定ニ付テハ深く御異存ハゴザイマセヌカ、其點ヲ伺ヒタイ、ト申シマスノハ、此第六條ニ於テ命令ノ定ムル處ニ依ッテ蠶室蠶具ノ消毒ヲ行フベシトアリマス、ケレドモ、斯ウ云フコトモ弊害ガアルト思ヒマス、例ヘバ甲地ノ製造家ガ乙ノ方ノ家ニ於テ飼育スル事實ハ全クサウデナイモノヲ——甲地デヤラヌモノヲ手飼ヒ場所トシテ繭ヲ造ラシテ、ソレヲ買受ケテ製造スルト斯ウ云フヤウナ實例ガ往々アリマス、是等ハ取締ノ方法ガ付テモ、製造者ノ資格限定ノ條件ノ一トシテ除カズンバ、他ニ方法ガナイト思ヒマス、極端ニ制限ヲ立ツルト云フコトハ時期尙早シト云フ反對ノ論モアリマスケレドモ、或ル時期マデハ之ヲ限定シテナサレタ方ガ本法ノ目的ヲ遂行スルニ於テ利益デハアルマイカト思フデアリマス、此點ニ對スル政府ノ所見ヲ尙承ッテ置キタイ

○政府委員(下岡忠治君) 蠶種製造者ノ資格ヲ限定スルコトヲヤルノニハ不同意デハナイカト云フ御問ヒデゴザイマス

○翠川鐵三君 左様

○政府委員(下岡忠治君) 第五條ハ其積リデゴザイマス、五條ノ趣意ハ何レ是ハ細目ヲ極メヤウト思ヒマスガ、ヤハリ資格ノ限定ハ、例ヘバ桑園ノ無イ者、或ハ蠶室蠶具等ヲ持ッテ居ラヌヤウナ者ガ發展ニ應ジ、投機ノ蠶種製造家ニナルト云フコトハ、却テ弊ガ多イカラシテ、立派ナル人々ニ製造業ヲ營メセタイト云フ趣旨カラ出テ居リマスカラ、相當ノ資格ノ制限ハスル積リデアリマス、ドウ云フ制限ヲスルカト申シマス、第一ニハ蠶室蠶具等ヲ持ッテ居ル、或ハ桑園ヲ持ッテ居ル、或ハ養蠶業ニ付テ相當ノ教育ヲ受ケタ者、但シ主人ハ教育ヲ受ケタ者デナクテモ、雇人ニ相當ノ者ガアレバ無論宜イト云フヤウナ風ノ制限ニシテ餘リ是モ又嚴重ノ制限ニシマスルト隨分是マデヤッテ來テ居ル人ハ、俄カニ其職業ヲ奪フト云フコトニナッテハイケマセヌカラ、ソコノ程度ハ餘リ嚴ナコトニ出來ナイイラウト思ヒマスケレドモ、兎モ角大體ノ方針トシテハ、投機ノ一時期チヨットヤッテ見ルト云フヤウナモノヲ防グト云フ趣意デ、相當ノ資格ノ制限ヲ與ヘル必要ガアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○翠川鐵三君 能ウ了解致シマシタ、此命令ニ出テタル事項ト云フヤウナ中ニ、其事柄ガ大要デモ御記載ニナッテ居リマスガ、若シナイト致シマスナレバ、今日デナクモ宜ウゴザイマスガ、大體ドノ位ノ程度マデ制限條件トセラレル譯デアルカ、其御意見ノアルトコロヲ明カニ致シテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(下岡忠治君) 唯今配布シマシタコロニハ、ソレハ入レテ居リマセヌガ、別ニ案トシテ拵ヘテ居ルモノガゴザイマスガ、實ハソレハマダ局ノ議モ決定シテ居ルト云

フトコロマデ行ッテ居リマセヌカラ、ツイ差出スコトヲ見合セマシタガ、併シ御參考ノタメニ斯ウ云フ風ナ卑見ヲ持ッテ居ルト云フノハ御覽ニ入レタラ宜カラウト思ヒマス

○村上先君 大分澤山御問致シマスガ、一項ヅ、御答ヲ願ヒマス、第九條ニ「蠶種製造者ハ蠶種製造用ノ蠶兒ト同一ノ飼育時期ニ於テ製絲用ノ蠶兒ヲ飼育スルコトヲ得ス」ト云フコトガアリマス、然ルニ是ハ或ハ同一ノ飼育時期デゴザイマシテモ、其飼育場ヲ別ニ致シマスレバ、却テ不都合ガナカラウト思ヒマスガ、此規定ハ餘リ窮困ノヤウニ考ヘマスガ、ドウデゴザイマス

○政府委員(下岡忠治君) ドウモ胡魔化シガ起リマシテ、隨分折角蠶病豫防ナリ總テノ點ニ於テヤカマシク言ッテ居ルニ拘ラズ、ツイ抜ケガ起ルト云フコトガ從來ノ例デゴザイマシテ、現行法デモ此通りデゴザイマス、現行法トハ少シモ違ッテ居リマセヌガ、窮困ト云ヘバ窮困デスケレドモ現在行ッテ居ルノデ、當業者ガ之ヲ敢テ嫌フト云フコトハ聞キマセヌ、飼育場ヲ全ク別ニスルト云フコトニスレバソレハ御説ノ通り弊ガナイト言ヘマスケレドモ、ツイソレハ仕切リラ——ッ拵エテ別ダト云フヤウニナッテ、其程度ニ困ル、大體ニ於テヤハリ同一ノ趣意ニ於テ已ムヲ得ナイト云フコトニナッテ居リマス

○武藤金吉君 唯今翠川君ノ御問ニ對シマシテ、附加ヘテ御尋致シテ見タイト思ヒマスガ、是ハ餘程問題ナノデアリマス、同一ノ飼育場ト申シマスガ、春蠶ヲヤッタト夏蠶ヲヤルモ差支ナイカト云ヘバ、ソレモイケナイト云フコトニナッテ居リマスケレドモ、ソレハドウ云フ譯デアリマス

○委員長(野田卯太郎君) チヨット武藤君、代理ヲ願ヒマス

○政府委員(下岡忠治君) 春蠶ト秋蠶ト云フモノノ間ハ、無論同一飼育時期デナイモノデスカラ、ソレハ差支アリマセヌガ、夏秋蠶ト春蠶ト少シ兩方喰合フ場合ガアルヤウデスガ、其場合ニ於テハ、ヤハリ是ハ出來ナイト云フコトニナルノデスガ、ソレヲヤハリ一緒ニスルト云フコトニナリマス、隨分胡魔化シテ起ス基ニナリハセシカト思ヒマスガ、現在ニデヤッテ居ッテ、餘リ苦情ノ聞カヌヤウニ思ッテ居リマスケレドモ、何カ當業者アタリデモ、サウ云フ考ヲ持ッテ居ル者ガアリマスカ知レマセヌガ、趣意ハ要スルニ胡魔化シテヤラシテハナラヌト云フ趣意デアリマスカラ、其胡魔化シノ出來ナイト云フ見込ノ立ッ範圍内ニ於テヤルト云フコトハ、敢テ異存ノアル譯デハゴザイマセヌ

○村上先君 第十一條ノ二項ニ特別蠶種ト云フモノガアリマスガ、規定ヲ通觀シテ見マスニ、別段特別蠶種ナルモノハ如何ナルモノデアルト云フ定義ヲ規定シタ箇條ハ見エマセヌ、而シテ茲ニ突然特別蠶種ト云フ名詞ガ現ハレテ居リマスガ、是ハチヨット法文ノ規定ヲ得テ居ラヌヤウナ感ガ起リマスガ、如何デゴザイマス

○政府委員(下岡忠治君) 此第十一條ノ第二項ガ即チ特別蠶種ト云フコトヲ現ハシテ居ル積リデアルカ、特別蠶種トハ何ヤト云フコトヲ大業ニ言ハズトモ、第二項ノ規定ニ依テ特別蠶種トナサントスル者ハ斯ウク、セイ、即チ是ガ特別蠶種デアルト云フ積リデ居ルノデスガ、別ニ定義ヲ掲ゲルト云フ程ノコトヲセズトモ判ラダウト思ヒマスガ、從ッテ別段ニ規定ヲ設ケテゴザイマセヌ

○ト部喜太郎君 質問ノ仕方ニ付テ……五十何條ト云フ條文ガアルヤウデスガ、大體ノ説明ハ前會ニ於キマシテ大臣並ニ政府委員ヨリ説明ガアッタノデゴザイマスガ、

○政府委員(下岡忠治君) 是モ與ヘマセヌ、何レモ現行法ノ通りニ踏襲シテ居リマス
○村上先君 第十九條ニ付テ伺ヒマス、「地方長官ハ蠶種又ハ繭ノ賣買又ハ取引市
場ニ關シ取締上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得」トゴザイマスルガ、是モ隨分地方長官

- 築山和一君　サウデス、此審査會ヲ設ケラレマスル前ニ、審査ノ標準ト云フモノヲ政府ニ於テ御定メニナルノデスカ
- 政府委員（下岡忠治君）　其積リテ居リマス
- 村上先君　モウ一ツダケ……
- 高木正年君　是ニ付テ大體……

○委員長代理(武藤金吉君) 高木サン、チヨット御待チ下サイ

○村上先君 三十二條ノ二項ニ同業組合中央會ノ規定ガゴザイマスルガ、此中央會ナルモノハ、是ハ自治的ノモノデアラウト思フ、然ルニ其議員ノ定數ノ五分ノ一ヲ超エザル特別議員ヲ任命スルコトガ出來ルト云フコトハ、餘リ干涉ニ過ギル嫌ヒガアリ、隨ツテ非立憲ニ流レル嫌ヒガアリマスルガ、是ハ何ノ必要ガアツテ斯ウ云フ特別ノ議員ヲ任命シナケレバナラナイデアリマスルカ、此點ヲ伺ヒマス

○政府委員(下岡忠治君) 是ハ例ヘバ農會或ハ商業會議所等ニ例ノアルコトデゴザイマスルガ、殊ニ蠶絲業同業組合中央會ニ於テ之ヲ入レルト云フコトヲ必要ト認メマスルノハ、各議員ハ地方カラ出テ來ルデアリマシテ、先ヅ言ヘバ一局部ノ地方ノ方ノ側ニドウシテモ向フ關係ガ多イケレドモ、此位ナ大産業トナツテ、殊ニ外國關係ノ非常ニ多イモノデアラカラ、全體カラ見渡サヤウナコトヲ始終考ヘテ貫フコトノ實業家トカ、或ハ學者トカト云フヤウナ人ミヲ此中ニ參與セシメテ、言ハハ智識ノ交換ガ十分ニ行ハレテ、相當ナ會議ノ結果ヲ現ハシタイ、斯ウ云フコトカラ起テ居リマスノデ、帝國農會ニシテモ、或ハ商業會議所ニシテモ、矢張同ジ理窟デ出來テ居ルト思ヒマス、ノミナラズ外國貿易ノ關係トシテ一番大切ナモノデアツテ、是ヲ行フニ付テ中央會ニ各組合カラ出テ來ルトコロノ議員ノ中ニ特別議員ト云フ者ヲ出シテ、相當ナ是ニ關シテ學識經驗アル人ハ入ツテ貫テ、組織スルト云フコトニ成ツテ居リマスノデ、先ヅソレニ倣テ拵ヘタモノデアリマス

○委員長代理(武藤金吉君) ソレデハ高木サン、大體ニ付テ御質問ヲ……

○高木正年君 私ハ議席ニ今マデ居リマシテ、唯今參リマシタガ、私ノ疑ノアリマスコトニ付テ、若シ前ニ御質問ガアリマシタラバ、委員長カラ御注意下サランコトヲ希望シマス、私ノ此蠶絲業法案ノ大體ニ付テ御尋シテ見タイト思ヒマスノハ、現在ノ蠶病豫防法モ隨分既ニ或點ニ付テハ全ク取締ノ必要ノ無イモノヲ取締ツテ居ルト云フ今日ノ事情ニナツテ居ル、所ガ此法案ハ蠶病豫防法案以上ニ取締ヲ嚴格ニシテ居ルヤウニ見エルトデアリマス、農商務省ガ一方ニ蠶絲ノ統一ヲ計ルト云フ他方ニハ蠶業ヲ獎勵スルノ意味ヲ以テ提案セラレタニ相違アリマセヌケレドモ、統一ト云フコトニ付テハ政府今日ノ計畫及此法案ヲ企テラレタル組織ノ上カラ無論十分デナイ種々ナル缺點ガアルト考ヘマス、ソレハ姑ク措キマシテ、法律取締ノ點カラ申シマシテモ、蠶業ヲ獎勵スルノデナクテ、養蠶家ヲ虐待スルヤウニナルト思フ、殊ニ關稅ノ取締及之ニ對スル關稅犯則處分法ヲ準用スルコトニナリマシタナラバ、實際ニ於テ蠶業家ハ蠶其物ガ蠶病ニ罹ル前ニ、蠶業家ノ方ガ萎縮病ニ罹ルシマツテ、之ガタメニ織物業モ亦發達シナイヤウナコトニナルト思フ、蠶病豫防法ノ消毒等ニ於テモ蠶絲家ハ難儀ヲシテ居ル、然ルヲ況ンヤ蠶病豫防法ヨリハ尙ホ嚴格ナル取締ヲシテ豫防スルトナラバ、蠶業ト云フモノハ到底勘定ニ合ハナクナルノデアアル、抑々我國ノ蠶業ノ狀態ハドウカト云フト、吾々ヨリモ多クノ智識ヲ持ツテ居ラル、方モアリ、又委員長代理モ實際ニ就テ御覽ニナツテ居リマスガ、私ノ見ルトコロデハ我國ノ養蠶ノ費用ハ、伊太利ニ於テ養蠶ノ費用ヨリモ百斤ニ付百圓位餘計ニ掛ルデアリマス、是ハ蠶病豫防法ニ依テ形式的ノ消毒ヲ迫リ、其他種々ナル干涉ガアルタメニ、今日ノ養蠶ニハ多額ノ費用ヲ外國ノ養蠶ヨリモ餘計ニ要スルデアリマス、然ル

ニ尙ホ此上ニ斯様ナ嚴格ナル取締ヲシタナラバ、我國ノ蠶業ハ益々衰退スルト思フ、或ハ澤山ニ養蠶スル者ハ良イカ知リマセヌガ、僅ニ副業トシテ少シノ養蠶スル者ハ其業ニ從事スルコトガ出來ナクナル、此點ニ付テハ私共ハ蠶業ノ前途ニ付テ心配ニ堪ヘヌデアリマス、私共ガ養蠶家乃至蠶絲家ニ就テ聽クトコロニ依リマス、蠶種ノ消毒ニ付テハ一斗ニ付約四錢ノ消毒費ヲ要スル、所ガ一斗ニ付テドレダケ繭ガアルカト云フト、二千五六百シカナ、其中デ種紙ニ選ル繭ハ僅ニ二十六七シカ良イモノヲ得ラレナイ、一斗ニ付テハ四錢デアルガ、種ニ作ル繭ノ數ニ割ルト頗ル高價ナル消毒費トナルデアリマス、是ガ今日ノ實況デアリマス、今マデノ蠶病豫防法デアアルナラバイクラカ寛デアアルカ宜シイガ、斯ウ云フ嚴格ナル取締法ヲヤルナラバ、種紙ヲ造ルニ付テ多額ノ費用ヲ要スルコトナリマスカラ、其變カラ養蠶家ガヤハリ牽制セラレテ、取締ヲ受ケルト云フコトニナリマシテ、將來我國蠶業ノ衰頹ハドシナ淵ニ沈淪スルニ至ルカ、實ニ憂慮ニ堪ヘナイデアリマス、政府ハ今日現在ノ蠶病豫防法ニ依テ取締ヲスルコトスラモ尙且ツ煩雜ナリトシテ居ルニ拘ラズ、此際更ニ一層嚴格ナル取締ヲセラレントスルデアアルカ、先ヅ之ヲ伺ツタ上デ更ニ第二ノ質問ヲ致シマス

○政府委員(下岡忠治君) 唯今ノ御質問ニ對シテハ大要前會デモ申シマシタガ、尙詳シク申マセウ、蠶病豫防ノコトニ付テ、世間ニ於テ反對ヲシ疑感ヲ抱ク者ガアルト云フ御説デアリマスガ、是ハ大局カラ考ヘテ頂戴シナイト、一局部一營業者一學者ノイフ事ノミニ耳ヲ傾ケテ貫ヒマスルト、大變間違ガアル、大體申マシレバ、蠶病豫防ハ先ヅ成效シテ居ルトイフ政府ハ考ヲ以テ居リマス、假ハ母蛾検査ニ付テモ、原種ダケデヤラサウト思ツデモ、原種以外ノ製絲用種デモドンク澤山検査ヲシテ貫ヒタガツテ、母蛾検査ヲシテ特別蠶種ニシナケレバナラヌト云フノデ、原種以外デモ検査ヲ希望シテ居ル故ニ、養蠶家ハ平附ノモノヲ使フヨリモ立派ニ検査シタモノガ都合ガ好イカラ、値段ガ高クデモ構ハナイカラ、良イ種ヲ使ハナケレバナラヌト云フコトヲ言ツテ居リマス、之ヲ考ヘテ見マシテモ、蠶病豫防ニ金ヲ使フノ效力ガアルト云フコトヲ證明スルニ足ルデアリマス、又微粒子病ノ歩合モ年々ノ統計ヲ見マシテモ、ヤハリ減ツテ居ル、勿論根絶スルコトハ出來マセヌガ、恰モ人間ノ肺病ハイツマデ立ツデモ根絶スルコトガ出來ナイヤウニ、微粒子病ヲスッカリナクスルコトハ出來マセヌガ、統計ノ上カラ言ヘバ確ニ微粒子病ノ歩合ハ減ツテ居リマス、ソレカラ言ツテモ、政府ガ蠶病豫防ノタメニイロク施設シタダケノ效果ガ舉ツテ居ル證據デアラウト思ヒマス、併ナガラ蠶病豫防ノ施設ニ付キマシテハ、政府ノヤツテ居ルコトガ果シテ完全デアアルヤ否ヤト言ヒマスルト、マダ不完全デアアルコトハ認メザルヲ得ナイデアリマシテ、又技術ノ研究ニ足ラナイトコロモアリマシテ、改良スベキコトハ澤山アリマスルガ、悲シ哉今日ノ技術及學問ノ上カラ言フト、是以上仕方ガナイデアリマスカラ、缺點ハアルデアリマスガ、先ヅ今日マデ之ヲ行フテ實際其效果ガ舉テ居ルコトデアリマスカラ、ヤハリ將來モ從前ノ通りヤラナケレバナラヌト思フデアリマス、ソレカラ何故ニ政府ガ現行法ヲ以テ足レリトセシテ、一層之ヲ嚴重ニスルデアアルカト云フ御質問デアリマスガ、是ハサウ嚴重ニナツタト云フ風ニ御考ニナリマスルト、少シ誤解カト思ヒマス、罰則ノ規定ヲ高メタノト、臨檢シテ場合ニ依テハ差押ヘルコトガ出來ルトシタノデアリマスガ、之ニ付テハ此間モ辯明致シマシタガ、蠶種製造家ハ非常ニ惡弊ガアルデア

リマシテ、或ハ母蛾検査ヲ頼ムニ蛾ヲスリ替ヘルトカ、或ハ日光ニ當テ、微粒子ガ分ラヌヤウニシテ胡魔化シテ持テ來ルトカ、例ヲ舉ゲレバイロ／＼アリマスガ、サウ云フ惡イコトヲスル、ソコデ正當ナル營業者ヲシテ憤慨セシムルノデアリマス、長野デモソウ云フ例ガ多イト云フコトデアリマスガ、正當ニ營業シテ居ル者ニ御聞ニナレバ能ク分カリマスガ、折角良イモノヲ拵ヘテ居ルハ、惡イモノヲ廉ク賣ル人ニ賣崩サレテ、營業ニ妨害ヲ受ケテ、惡イ種類ノモノヲ拵ヘル、胡魔化シテ拵ヘル、ソレヲ所謂一般ノ何モ知ラヌトコロノ農民ニ賣付ケテ欺カシテ居ル、斯ウ云フコトニ對シテハ、相當ナル取締方法ヲ設ケルコトハ當リ前デアル、從テ現行ノ規定ト雖モ、先ヅ一通リノ取締ハ付ケテ居ルデアリマス、今二ツノ點ノ改正ヲ要スル理由ハ、差押等ノ必要ガアリマスノデ、蠶病豫防吏員ノ意見ニ依リマシテ、臨檢ダケデ、ソレダケテ見ス／＼惡イコトヲシテ居ルガ、ドウモ押ヘヤウガ無イ、ソレガタメニ見ス／＼其儘ニ看過セシナラヌト云フコトガ非常ニ多イト云フコトヲ、局ニ當テ居ル吏員ガ訴ヘテ居ル、其タメニ正當ノ營業者ガ妨害ニナリマスカラ、據ロナク臨檢、搜索、差押ガ出來ル、斯ウ云フコトニ對シテハ、三十五條ガ出來マシタガ、又罰金ノ例ハ隨分蠶絲ニシテモ、繭ニシテ見テモ、値段ノ高イモノデアルカラ、二十圓ヤ五十圓、百圓位ノ罰金ナラバ、ソレヲ拂テモ構ハヌト云フヤウナ考デアル方ガ隨分多イノミナラズ、他ノ各種ノ近頃ノ漁業法ノ實施ノ如キ、立法例ニ依ルト、通常是位ノ罰則ガ釣合ガ外ノ法律ト取レテ居ルコトニナリマスカラ、強テ是ダケガ特ニ重イト云フ譯デハナイ、現ニ漁業法アタリデモ御覽下サレバ分リマスガ、是ト見合テ取テ出來テ居ル、特ニ之ニ限テ重クスルト云フ譯ハナイ、ソレカラ尙特ニ辯シテ置カナケレバナラヌノハ、養蠶家ナドヲ非常ニ之デ苛メルト云フ御考ガアルヤウデスガ、ソナコトハ決シテナイノミナラズ、ソレハ事實行ハレヌノデス、此案ノ本會議ニ於キマシテモ、卜部君カラ第四條ノ規定ニ就テ御質問ガアッタ際ニ、大體答辯致シテ置キマシタガ、要スルニ養蠶家ニモイロ／＼豫防ノ施設ヲ命ズルニハ、場合ニ依レバ斯ウ云フコトモ出來ルヤウニシテ置キマセヌト、蠶病豫防ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイ現行ノ規定モアルデアリマスカラ、實際ソレヲ一々養蠶家ニ向ヒ、特ニ養蠶家ニ向テ施設ヲ命ズルニハ、ドウシテモ是ハ置カナケレバナラヌデアリマス、場合ニ依テハ斯ウ云フコトノ出來ルヤウニシテ置カナイトイカヌカラ、現行ノ規定ノ通り踏襲シテ居リマスケレドモ、ソコマデヤルト云フコトハ政府ノ考デアリノミナラズ、實際行ハレナイコトデアラウト思ヒマス、從テ第三十五條ノ臨檢搜索ト云フヤウナ規定モ、是ハ政府ノ見テ居ルトコロハ、主トシテ蠶種製造家ト賣買取引ヲヤル前ニアルノデゴザイマス、蠶種製造家ハ、一種ノ專門ノ營業デスカラ、是ニ對シテハ相當ノ取締ヲスル必要ガアリマス、ケレドモ一般養蠶家ニサウヤカマシクスル必要ハナイ、第三十五條ノ取締ヲスルトカ、臨檢ヲスルトカ何ト云フコトハ、先ヅ今度ノハ通用ガナイト云フ宜カラウト思ヒマス、三十五條ノ規定ハ副業ニヤテ居ルトコロノ者ニハ、サウ迷惑ヲ掛ケルト云フコトハ斷ジテナイト御承知ヲ願ヒタイ

○高木正年君 政府ハ此蠶病取締ノタメニ千圓以下ノ罰金、若クハ此所ニ掲ゲテアルコトハ既ニ他ノ漁業法等ニ其例ガアルト云ハレタガ、漁業法ニハ私ハトロール漁業デハ千圓以下ノ罰金ト云フコトニナッテ居ルト思フ、トロールハ一度網ヲ下セバ、五百圓ヤ千圓ノモノヲ取テ來ルデアルカラ、餘程重イ罰金デナケレバ取締ガ出來ナイガ、此方デハサウデハナイ、今日蠶種即チ蠶ノ種ノ製造ヲ營業シテ居ル者ハ、原蠶種ヲ土臺トシテ、何所ノ蠶種ニハドウ云フ結果ガアルト云フコトハ、其年ノ結果ニ依テ翌年直グ信用ノ基礎ニナルデアアルカラ、決シテ此ヤウナ胡魔化シハ事實出來ナイ、能ク養テ行ッテモ、原ノ種ガ惡ケレバ決シテ良イモノハ出來ナイカラ、蠶種家が自然ニ注意スルト云フコトモ起ッテ來マス、政府ガ左程マデニ極端ニ取締ヲシナクテモ宜イト思フガ、之ニ就テノ御考ヲ御尋致シマス、現在ノ蠶病豫防法ハ現在ノ程度ノ二百圓ノ罰金デハ、ドウシテモ取締ガ出來ナイト云フ何カ歷史的ノ實例ガアルナラバ、ソレヲ伺ヒタイ、尙之ニ附帶シテ御尋シマスノハ、今度此法案ガ通過シマスルト、各府縣ニ置クトコロノ蠶絲法ヲ實施スルニ就テノ主任トナルベキトコロノ人ハ、ドノ位ノ官等ノ、ドノ位ノ報酬ヲヤルベキ者ヲ御置キナリマスガ、且ツ現時ハドレダケノコトヲシテ居リマスガ、私ハ此法案ヲ讀ンデ見マスルト、此法案ノ蠶病豫防ニハ、合同繭ヲ種ニシテハナラヌ、六蛾バカリノ繭ノ中カラ出タ蛾ノ健康デナイモノハイカヌト云フヤウナ箇條ガアリマスガ、現在ノ蠶病豫防法モ事實ノ通リノ検査ハトモ行フコトガ出來ヌノデ、此法案ノ通り實施スルトナッタラ、餘程ノ人ガナケレバ出來ナイ、チヨット今ノ此大藏省ノ事務上ノヤリ口ガ、之ヲ取締ルトキニナルト、一人ヤ二人詰切リニシテヤルト云フヤウナコトデ、此法ニ於テモ種ヲ付ケルトキニハ、詰切リデ官吏ヲ置カナケレバ此取締リガ出來ナイト云フコトニナラウト思ヒマス、此點ニ就テ政府ハドウ云フ御考ヲ持ッテ居ッテ、此法案ヲ作ラレタデアリマスガ、今申シタ中ノ箇條ハ蠶病豫防法ニモアリマスガ、從テ彼ノ豫防法ノ箇條ヲ尙此ノ以後ニ於テ取締ルトスルト、是ハ寧ロ取締ガ出來ルヤ否ヤト云フコトガ疑問ナンデス

○政府委員(下岡忠治君) ソレハ前申シタ通りデアリマシテ、他ノ法令等ノ如ク出來ナイト云フコトガ一つ、ソレカラ一ツハ多少ノ罰金位ハ之ヲ科シテ罰ヲ受ケルト云フコトヲ防グタメニ高クシタト云フデアリマス、漁業法ノトロールノ話ガ出マシタガ、トロールハ五千圓トナッテ居リマス、又外ノヤッデ千圓ト云フノ標準ニシテ、漁業法ノ第五十八條ハ千圓以下ノ罰金ニ處スルシテ、漁業免許ヲ受ケズ若クハ停止中第四條又ハ第六條ノ業ヲ爲シタル者ト云フヤウナコトデス、其外ソレニ準ジタヤウナモノガ二ツ四ツアリマスガ、結局他ノ法令ノ現今アルモノカラシテモ、餘リ是ハヒドイ罰デアルトハ認メラマセヌノデアリマス、無論千圓以上トアルト、或ハ五十圓以下ト最高トシテ罰スルコトニシテ、ソレ以上ニ及ブト云フ場合ハ、減多ニナイコトデアラウト思ヒマス、他ノ立法ノ釣合カラ言ヘバ、是位デ宜カラウト云フ考デゴザイマス、而シテドウ云フモノニ斯ウシナケレバナラヌト云フ適切ノ例ガアルカドウカト云フ御尋デアリマスガ、今之ヲ適切ナル例トシテ申ス事例ハ持ッテ居リマセヌガ、先ヅ今申上ゲタ通り、繭ナドハ値段ノ高イモノデス、ソレヲ胡魔化シテヤル場合ニハ、少シ位ノ罰金ハ一向構ハヌト云フコトニシテ罪ヲ犯スト云フコトガアリ得ル、ソレデ其方ノ目的カラ起ッテ來テ居ルノデゴザイマス、夫レカラ豫防吏員ノ數ノコトデスガ、別ニ之ヲ施行シタカラ俄ニ豫防吏員ノ數ヲ殖ヤスト云フ考ヘデゴザイマセヌ、多少殖エルト云フコトハアリマセウケレドモ、縣ノ經濟ト云フコトモ考ヘナケレバナリマセヌカラ、サウ殖エルト云フ豫定デアリマセヌ、ソレニ嚴シクスルノ人モ餘計ニ使ハヌデ、ドウシテ出來ルカト云フ御疑モアリマセウガ、隨分ヤリ方ニ依テハ行届クコトモ出來マセウ、餘リ繁瑣ナ細イコトニ著眼セズ、主眼ニ當ルベキコトニ取締ノ方法ヲ致シマシタナラバ、吏員

ハサウ殖ヤサデモ出來ルト云フ考ヲ持ッテ居リマス、原蠶種ヲ製造シマスルニハ、國テ相當ノ技術者ヲ以テ注意スル、最モ地方デモ補助費ヲ出シテ地方ニ原蠶種ノ製造所ヲ設ケマスレバ、ソレニ對スル技術者ヲ要シマスルガ、縣費ヲ以テ國庫ガ補助ヲ致シ、之ヲ實行スルト共ニ、増員ト云フコトモ起リマセウガ、之モ府縣ニ對シテ非常ニ影響ガ大キイモノデハナイト云フ考デアリマス

○高木正年君 未開地デ自分デ造ッテ種ヲ用井ルコトニ付テ規定ガアリマスガ、年々自分ノ種デ善良ナル繭ノ出來ルモノニ對シテハ、取除ケノコトノナイノハドウ云フ譯デスカ

○政府委員(下岡忠治君) ソレハ第十六條ノ規定ニ付テ御疑デセウガ、學術研究ノタメナラバ、勿論宜イト云フコトデ、學術研究ノ目的ヲ以テ致シマスレバ勿論宜シイノデ、全體自分ノ家デ飼ッテ置イタカラ、其種ヲ用井ルト云フコトニナルト、大體ノ立テ方ニ於テ自家用蠶種ハ許ス——學術研究ノタメニスルモノ、又ハ離レ島等ノ極ク僻遠ノ土地トカニハ、立派ナ種ヲ採ッテ居ルモノモ賣リニ往クモノモナイト云フヤウナ、大體幼稚ナ地方ニ於テハ、之ヲ許スト云フコトニ立テネバナラヌ、併シ交通ノ便利モアリ、相當ニ發達シタ地方ハ、學術研究ノ目的ニアラザレバ自家用ニ用井サセスト云フ趣意デアリマス

○委員長代理(武藤金吉君) 當席カラ今蠶病豫防取締ニ付テ質問ガアリマシタカラ私モ附加ヘテ伺ッテ置キマス、此蠶病豫防法施行方法ニ付テハ、政府當局者モ既ニ在來ノコトニ不備ノ點ガアリ、遺憾ノ點ガ多イト云フコトヲ御覺醒ニナッテ居ルコト、思ヒマスガ、此度ノ蠶絲法ニ組入レテ、又蠶病豫防法ト云フ方ニ、範圍ヲ御廣ゲニナルノハ、例ヘバ消毒ノ際ニ「ホルマリン」液ハドウ云フ風ニ使用スルカ、其使用法ハ四十年度以降二年三年度アタリニハ、ドノ位全國ニ於テ「ホルマリン」液ヲ使ッテ居ルカ、今後又今度擴張シテ使ヒマスニ付テハ、此量ヲドノ位御用井ニナルカ、例ヘバ一軒ノ暖室ニ於テ消毒ヲ施スニ百分率ニ對スル制度及全國ニ對スル使用ノ方法等ハ、ドウ云フ風ニヤル積リデアリマスガ、私共ノ考ヘマスルニハ、此消毒法ト云フモノハ養蠶ニハ缺クベカラザル必要ナル事業デアルト共ニ、此ヤリ方ニ付テハ唯今高木君カラ御尋ガアリマシタヤウニ、隨分峻烈ナル弊害モ伴フコトガアルノデアアル、又苛重ナル虐待ヲ蒙リ、迷惑ヲ受ケ、罰金ヲ課セラレ、此用井方ニ付テハ隨分蠶種業ノ盛衰興亡ニ關係スル大問題デアラウト思フ、大分遅クナリマシタガ、折角此問題ヲ掲ゲラレタコトデアアルカラ、此方針ヲ充分ニ御説明ヲ願ヒタイ、若シ下岡君ニ御差支ガアリマスレバ、茲ニハ技術官モ見エテ居ラレマスカラ、此蠶室ニ對シテ病種若クハ蠶病ニ對シテノ方法等モ精シク御説明ヲ煩ハシタイ

○政府委員(下岡忠治君) 私カラ大要御話申上ゲマシテ、尙足りマセヌナラバ技術者カラ申上ゲマス、現在「ホルマリン」消毒用ノ分量ハ、十疊間ニハドレ位、十疊間ニハドレ位ト云フテ、平面積ヲ見テドノ位液量ヲ使フト云フコトガ極ッテ居リマス、即チ百分ノ一ト云フ割合ニヤッテ居リマス、是ハ隨分各種ノ試驗ヲ經テ結果、斯ウ云フ風ニ極ッテ居ルノデ、確カニ有效デアルト認メテ居リマス、餘所ノ國デハ最モ其分量ヲ多クシテ居ル例ガアリマシテ、百分ノ一二ニスルト云フコトモ聞イテ居リマスルガ、此分量ノ多イ少イニ

依ッテ効力ニ變リハナイ、薄クテモ澤山掛ケレバ從ッテ消毒ノ効ガアリ、濃クテモ上ヲ摩デルヤウニシテセッテハ効力ガ少ナイ、日本ノ現在ニテハ從來各種ノ試驗ノ結果、是ナラバ大丈夫ト云フコトニナッテ居ルデアリマス、最モ稀薄ノモノヲ誤魔化サレテ、大變薄クナッテ居ルモノニ水ヲ混ゼテ賣ルト云フ隨分騙マサレル場合モアリマスカラ、此「ホルマリン」ノ供給ト云フコトニ付テハ注意ヲ要シマスガ、之ハ技術官ノ研究ノ結果デアリマス、併ナガラ「ホルマリン」ノ使用方法ト云フコトニ付テハ餘程注意ヲ致シマセスト、折角金ヲ掛ケ、手數ヲ掛ケタニ拘ラズ、其効力ガナクナルト云フ考デアリマス、現在使ッテ居ル量ハ、正確ナルコトハ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、ザット三十萬圓ノ金ガ要ルト云フコトヲ御承知ヲ願ヒマス、是ハ各府縣ニ照會シテ調べタ結果デ、ザット三十萬圓近クノ金ヲ使フト云フコトニナッテ居リマス

○委員長代理(武藤金吉君) ソレデハ今日ハ是デ散會致シマセウ、次回ハ追テ公報ヲ以テ御通知致シマス

午後四時三十九分散會